



ランチ風景



巻頭特集 「清く直く明るく」

# 中村中学校・高等学校

清澄庭園の隣にある中村学園。今年創立109年を迎えた老舗の学校だ。ピロティに出るとバトン部の生徒達が暑い中練習をしていた。放課後の部活動は実に活気がある。バレー部が有名で、公式戦で149連勝している。最近では、バトン部やダンス部、吹奏楽部なんかも生徒たちに人気だそうだ。今回は清澄白河の伝統校、中村学園を取り上げる。

ただを受け入れるだけの素直ではなく、受け入れて咀嚼する、「ここは同じ意見」「ここは違う意見」「知らないことは何だろう?」と単純な素直ではないんです。だから就職すると可愛がられているそうです。素の自分を出せるんですね。」

**30歳からの自分を考える 中村学園のキャリアデザイン**

中村学園では2002年よりキャリアデザイン授業を行なっている。企業のグローバルとは違い、グローバル、人材育成機関ではない人を育てていく場所を創るのだという。「利益追求成果主義の人材ではなく、「清く直く明るく」人を育てます。働くことを通じて「この人ともう一回仕事をした」と思ってもらえる人を育てるということです。仕事抜きでも仲良くしたい人を創ること、それが21世紀に必要なと思います」大学のキャリアデザインが就職のためのカリキュラムである中、中高一貫校だからこそ、6年間でキャリア開発をしている。「中学3年間は夢を持たせませんが、夢ばかり見ているダメなんです。中学3年からは『夢見る乙女はもう卒業しなさい』と指導しています。」

中村学園のキャリアデザインでは、志望大学を決めるよりも先に、学部学科が決まっていく。そのため、大学に入った時にはすでにやりたい研究が決まっている場合がほとんどだそうだ。進学した卒業生には進路

深川の地に女子教育を 商業中心地に持ち込んだ理念

中村学園の「中村」は、創設者中村清蔵の名から由来している。商人の家に生まれた清蔵は、慶應義塾を指すも「商人に学問は要らない」と義父に一喝されたという。明治期に実業家として成功した清蔵は壮年に深川の自宅を解放し、私塾を始め。明治36年、前身の深川女子技芸学校を平野一丁目、当時の深川警察署の後ろ（現在の江東区老人福祉センター）に創るが、その2年後、日露戦争後のポーツマス条約の反対派による深川警察署焼き討ち事件で延焼し、焼失してしまった。清蔵はすべての私財を投じて校舎を立て直して明治42年、私立中村高等女学校を誕生させた。当時、明治末の東京にあった26校の女学校の一つとなった。



▲創設者の中村清蔵

「女に学問は要らない」という因習のあった20世紀初頭に、深川の地に女子教育の火を灯し続けたいと志したという。米や木材の集積地として栄え、活力溢れる下町「深川」はまさに「働きなさい」が美德の地だった。



▲今回、取材させていただいた 11代目校長の永井校長

に悩んでの中退も、進路変更もほとんどない。「自分の将来のことは考え尽くしてから卒業させるようにしています。生徒集会や保護者会でも、100年ライフを考えられるように22世紀に目を向けさせています。」

これからも地域とともに 中村学園の歩み

「地元の方々には、時折ご迷惑をおかけすることもありますが。清澄公園の歩道を生徒が道いっばいに広がって歩いていると、たまにお叱りを受けるんです。でも、良いことこの連絡もしていただいています。」長期休暇の前後には校長自ら地域に挨拶回りをするという。その際に「早く学校が始まってほしい」「賑やかで元気が出る」など、地元の方々に応援されることが多い。中村学園自身も、おやじの会で学校周辺の清掃活動や江東区のイベントに吹奏楽部がボランティアで参加するなど、地域との連携を進めている。東京都や江東区、深川一丁目保育園の避難場所になっている。これからも地域と共に、「清く直く明るく」人を育てる。

た。その深川に女子教育の理念を持ち込んだのは、「商人に学問は要らない」「女に学問は要らない」ことへの挑戦であったのかもしれない。

校舎を3回失った 地域に支えられて復興

中村学園の校舎は、3回焼失している。1回目は前述のポーツマス条約反対派による焼き討ちの延焼。2回目は関東大震災、3回目は第二次大戦での東京大空襲だ。その度に地域の方々と共に復興してきたことから、その思いを込めて一つ前の校舎に不死鳥フェニックスが大きく描かれていた。現在の校舎は平成11年に建て替えられた。なんとこの校舎が平時に建てられた初めての校舎なのだそう。そんな波乱万丈な学校史であったが、校風はほとんど変わっていないという。「みんな伸びやかで飾らない子が多いんです。一人一人、入学の動機は違いますが、在校生を見て入学してくる子が多いようです。他の学校と比べてみると、生徒が素直だと良く言われるんですよ」と、11代目の永井校長は嬉しそうに語る。「単純に言われたこと



▲昭和51年に落成した当時の校舎壁面 シンボルのフェニックスが描かれる



中村学園の制服は とても可愛くて 女子校部内ベスト5に入っているそうです!

▲グレーを基調とした中学校は「かわいらしさ」黒基調の高校は「清楚・上品」をテーマにしたデザイン スクールカラーのエンジを素材に取り入れている

中村学園について 生徒さんに聞いてみました

御代川さん 中村高等学校 2年生 バトン部部长

Q. なぜ中村学園を選ばれたのですか?

A. 塾に通っていた時、女子校がいいと考えていました。当時の塾長がこの学校を勧めてくれて、学校説明会に行ったんです。制服が可愛くて、それに中高一貫校というのもあって、中村学園に決めました。

